

補助事業番号 22-1-038

補助事業名 平成 22 年度 自転車スポーツの啓発普及とイベント振興 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 サイクリストビュー

## 補助事業の概要

### 事業の目的

サイクルスポーツの啓発普及およびイベントの振興のため、島根県の自然を活かした地点往還グランfond・ロングライドや、手つかずの山林道をそのまま活用するヒルクライムレースなど、全国のサイクリストが気軽に参加できる大会を毎年開催することにより認知度を高め、国内外からの有名プロ選手を招待し、よりサイクリストに魅力的な事業となるよう、また、島根県にとどまらず全国各地で同じような大会を開催することにより、日本全体のサイクリストの拡大・発展、サイクルスポーツ事業の振興をもって公益の増進に寄与する。

### 実施内容

#### 石見グランfond 2010

昨年度に引き続き本年も、より本格的なグランfondを志向する為と、運営スタッフの本来の仕事の都合上、1日開催とする。但し、最長距離は200キロ、累積標高は3,000メートルを超えるという、全国でも屈指の本格的なグランfondをして大会を行った。開催日は5月の9日(日)。島根県西部の石見地方3市4町の一般道路を利用し、中上級者向けサイクリング大会を開催した。また、コースは昨年と大きく変更し、200キロ・180キロのロングコースと140キロのショートコースを別コースとして設定する。



本年の大会は、前年度参加総数 268 名を大きく越え、1日の参加人数では過去最高の 484 名

(前年対比 180.6%) の参加となった。大会当日は快晴。大会はトラブルもなく、事故やケガも全くなき盛會にて終了する。



初めての本格的なグランfondではあったが、コースを3コースにセパレートしており、チェックポイントの制限によって140キロ、180キロにコース変更できるような選択肢を設定した結果、リタイヤ者はわずかで、満足度の高い大会となった。



2 参加総数 484 名 男性 459 名 女性 25 名 出走総数 455 名 欠席 29 名

完走状況

200 キロ完走者 174 名 180 キロ完走者 104 名 140 キロ完走者 139 名 リタイヤ又はコース

変更走者 38 名また、参加者のうち島根県参加者は 104 名で、県外比率は 78.5%と県外比率も高く、宿泊・食事等で地域経済を大きく潤す事になった。

#### 飯南ヒルクライム 2010

島根県東部の広島県境に位置する飯南町の全長 12.5 km 高低差 450m で農道や林道を利用した、標高 1050mのゴールを目指す中国地区最大級のロードヒルクライムレース。参加人数は中国地方を中心に昨年を大幅に上回る過去最高の 210 名の参加。県内参加者 50 名、県外参加者 160 名であり、県外比率も 76.2%と高いものとなった。



当日は爽やかな快晴。今年は、昨今の気象異変等もあって、コース途中が崖崩れ等もあって、コースの修復と変更等が直前まで問われる部分もあったが、大会自体は問題なく終了した。



スタート時では、毎年恒例の副町長より「この大会は飯南町の名物にすべく、今後とも町を挙げて継続開催をしていくとのコメントを参加者に頂戴した。また、クラス別では5クラスとも白熱した熱戦が繰り広げられ、飯南町全体が大いに盛り上がった大会となった。

#### ウ. 出雲路センチュリーライド 2010

縁結びの地として知られる、島根県東部の出雲路広域3市2町の一般道路を利用し、一日で160kmのロングライド型サイクリング大会を開催。コースは、石見グランfondよりは平易であるが、島根の自然を存分に感じていただくため、山間部のアップダウンのかなり取り入れており、中級クラスレベルで余裕を持って走破可能なコース設定をした。



今回は前年を遙かに超える623名の大会参加があって、昨年対比で117.9%という驚異的な伸び率となった。これにより、本大会は中国地区では最大級のサイクリング大会となり、全国的にもメジャーな大会として認知されるに至った。



参加総数は締め切り直後参加人数 623 名 当日参加数 584 名 リタイア数 33 名 完走率 94.30% 県外比率 81.0% という県外比率の非常に高い大会であり、我々が理想として掲げる「自転車を通じて、島根県の観光振興、地域振興に寄与する」という理想が現実のものとなった大会となった。



関連する自治体も今後の成長性を高く評価しており、数年内に、地域を代表するイベントとして認知・定着化が見込めるものとなった。

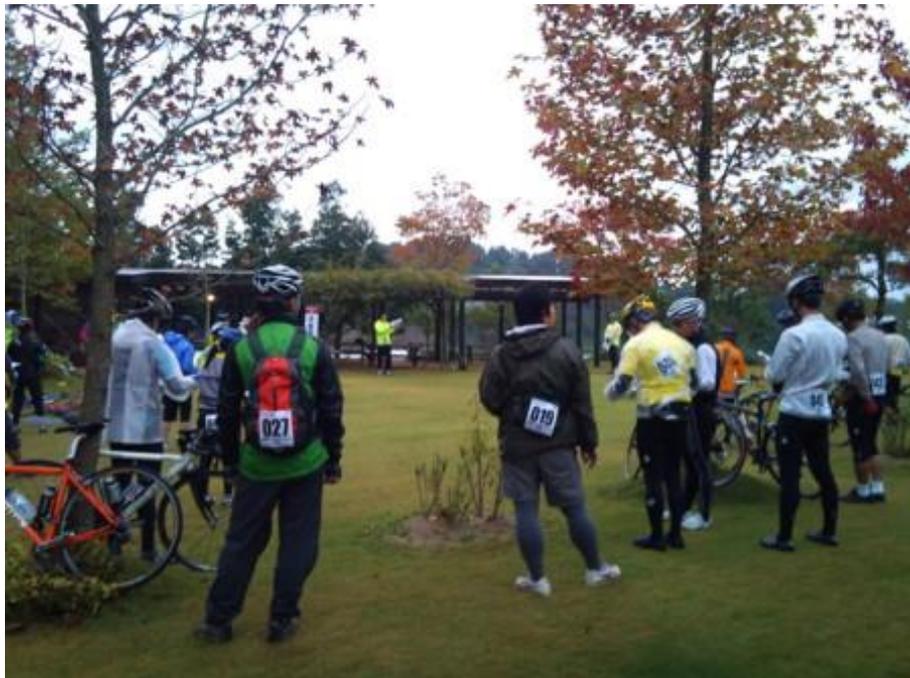
#### エ. 雲南サイクルチャレンジ 2010

島根県東部の中山間地域に位置する雲南市にて 4 回目となるサイクルイベントを開催する。本年は前年よりも趣向を変え、より雲南市の魅力を感じられる大会に企画変更した。



1 日目は、雲南市の子どもたちに自転車の楽しみを指導する「雲南キッズバイクチャレンジ

と、シクロクロス中国九州地区のプロローグ、マウンテンバイクのエンデューロ（耐久レース）を開催したが、キッズバイクチャレンジは参加者が1名で、開催を断念した。2日目は、日本でもまだ珍しい、本格的なグルメフォンド（食べ歩きサイクリング）を開催。



雲南市は、安全安心な食材の宝庫でもあり、その土地の、魅力を最大限生かし、自転車と共に楽しんでいただきたいとの思いから開催し、本年が2回目である。



最終参加者は昨年よりほぼ倍増し、県外からの参加者が顕著に増えていた。但し、1日目の耐久レースは、全国的にマウンテンバイクの人气が下降傾向にあるため、やむを得ない部分もあった。来年度はグルメフォンドの更なる認知拡大を図る事と耐久レースに関してはロー

ドバイクの耐久レースへと変更する予定で、参加者増を目指していく。

種目別参加者数	雲南キッズチャレンジ	0名			
島根シクロクロス雲南	1名	MTB耐久レース	8名		
雲南グルメフォンド	61名	昨年対比	120.7%	最終参加者数	: 70名

## 2. 予想される事業実施効果

石見グランフォンド 2010 :

石見地方の3市3町のシンボルでもある世界遺産「石見銀山」周辺を走る唯一のグランフォンドとして、認知は完全に全国区となり、次年度以降は、より参加者が増えるよう魅力あふれるコースメイクを企画していく。具体的には、人気のある周回コースをより満足度の高いコースレイアウトに変更する事や、参加者の利便性を高め、スケジュールに余裕を持って参加できるよう配慮する事、受け入れ体制のさらなる拡充である。また、次年度はスタート会場である大田市及び久手地区との連携による、田舎らしいおもてなしの拡充を図りながら、大会を地域の財産として盛り上げていく事を検討中である。

飯南ヒルクライム 2010 :

飯南町で4年目となり、中国地方随一のヒルクライムレースとして、参加人数も順調に増えてきている。本年は参加者も念願の200名を越え、飯南町内の評判も昨年以上に大変良いものであった。大会の前後でもコースを楽しもうと町を訪れるサイクリストも増え、地域が自転車による地域振興に大いなる期待をもっている。地域経済が疲弊した中山間地域の田舎町に、自転車という希望の光を提供している。今後はよりいっそう飯南町の自転車振興に貢献したい。

2010 出雲路センチュリーライド :

2年前よりセンチュリーライドとして、よりロングライドを楽しめるよう、コースを大幅に変更して、比較的アップダウンの少ない内容にして開催したところ、昨年度をさらに上回る623名の参加があって、本年の全ての事業では過去最多の参加人数となった。開催自治体の関心度も非常に高く、地域の良さや、地域のイベントとの効果的な連携が図れ、参加者に大きな地域の魅力を提供できた大会になってきた。また、サテライト山陰とも本大会と競輪とのコラボレーションを実現し、休憩所をサテライト山陰で開設して、競輪のPRを同時に行った。また関連する地域の経済界でも、注目され、確実に評価されるイベントになってきており、出雲路広域の代表的な町おこしイベントとしてさらなる成長していく事は間違いない。

雲南サイクルチャレンジ 2010 :

大会参加者数は昨年よりは大幅に増加してはいるが、昨今のマウンテンバイクの人気低下による影響が大きい事認めざるを得ない為、まだまだ満足できる規模にはほど遠いものがある。よって次年度は、ロードバイクの耐久レースの開催を検討中である。しかしながら、雲南らしい新しい企画として、日本ではまだまだ珍しい「グルメフォンド」の2回目は前回のほぼ倍近い参加者を集め、大きな手応えを感じたことは大きな収穫だった。自治体も、地域の経

済界もこのグルメフォンドをおらが町の人気大会にしようとして非常に前向きな意見を頂戴したので、地域としっかり連携し、日本屈指のグルメフォンドに育てていきたいと思っている。

本事業により作成した印刷物等

石見グランフォンド 2010

開催告知チラシ（印刷枚数 30,000 枚）

開催告知ポスター（印刷枚数 500 枚）



②飯南ヒルクライム 2010

開催告知チラシ（印刷枚数 5,000 枚）

開催告知ポスター（印刷枚数 400 枚）



出雲路センチュリーライド 2010

開催告知チラシ（印刷枚数 9,000 枚）

開催告知ポスター（印刷枚数 1,000 枚）



チラシデザイン



ポスターデザイン

### 雲南サイクルチャレンジ 2010

開催告知チラシ（印刷枚数 5,000 枚）

開催告知ポスター（印刷枚数 500 枚）



チラシデザイン



ポスターデザイン

### 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人サイクリストビュー

住所： 690-0044

島根県松江市浜乃木六丁目 26 番 5 号

代表者： 代表理事 森脇 博史（モリワキヒロシ）

担当部署： 本部（ホンブ）

担当者名： 代表理事 森脇 博史（モリワキヒロシ）

電話番号： 0852-21-3920

F A X： 0852-21-3904

E-mail： [infoncv@plusvalue.co.jp](mailto:infoncv@plusvalue.co.jp)

URL： [www.plusvalue.co.jp/cyclistview](http://www.plusvalue.co.jp/cyclistview)